

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マイルチャンピオンシップでステルヴィオがG I 初制覇

11月18日(日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)ではステルヴィオ(牡3歳/美浦・木村哲也厩舎)が優勝し、G I 初制覇を果たしました。木村調教師と鞍上のウィリアム・ビュイック騎手(イギリス)にとってもJRAのG I 初制覇となります。

●秋の福島リーディングジョッキーは津村明秀騎手

11月18日(日)をもって3回福島競馬が終了し、5勝・2着6回の成績を残した津村明秀騎手(美浦・フリー)が、同じく5勝で並んだ4名を2着回数で上回って開催リーディングジョッキーに輝きました。なお津村騎手は年間でも福島競馬のリーディングジョッキー(19勝)となっています。

●ルメール騎手と武騎手が香港の騎手招待競走に出場

12月5日(水)、香港・ハッピーバレー競馬場(ナイター)で行われる「2018ロンジン・インターナショナル・ジョッキーズ・チャンピオンシップ」に、クリストフルメール騎手(栗東・フリー)と武豊騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。同チャンピオンシップには世界各国から12名の騎手が参加、4競走の成績で順位を決定し、優勝者には50万香港ドル、第2位に20万香港ドル、第3位に10万香港ドルの賞金が贈られます。

●産駒の勝利数第2位、第3位の記録達成

11月11日(日)の3回福島4日・第12レースとして行われた西郷特別ではダノングレースが優勝、ディープインパクト産駒のJRA通算勝利数は1758勝となり、翌週の17日(土)と18日(日)にも計5勝をあげて1763勝に到達。また17日(土)の5回京都5日・第10レースとして行われた比叡Sではグローブシアターが1着となり、キングカメハメハ産駒のJRA通算勝利数が1758勝となりました。これらはノーザンテースト産駒の1757勝を抜き、ディープインパクトが単独第2位、キングカメハメハが単独第3位となる記録です。

●日本馬9頭が2018香港国際競走の招待を受諾

12月9日(日)、香港・シャティン競馬場で行われる香港国際競走4レース(いずれもG 1)に日本馬が選出され、関係者が招待を受諾しました。香港Cにはサングレーザー、ステファノス、ディアドラ、香港マイルにはヴィブロス、ペルシアンナイト、モズアスコット、香港スプリントにはファインニードル、香港ヴァーズにはクロコスミア、リスグラシューが出走予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は11月21日に実施され、第1戦は櫻井光輔騎手(川崎)、第2戦は鈴木祐騎手(岩手)が優勝しました。これでトライアルラウンドは全て終了し、JRA所属では木幡巧也騎手、横山武史騎手、井上敏樹騎手(以上美浦)、義英真騎手、荻野極騎手、西村淳也騎手、服部寿希騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

●ブロッサムC(門別)はイージーナウ【各地の主要2歳重賞】

ブロッサムC(11月15日、門別、1700m、牝馬)は、4番手を追走した2番人気のイージーナウ(父シニスターミニスター)が直線半ばで抜け出し、重賞初挑戦で初制覇を果たしました。

●オルトグラフらが参戦、11月28日の兵庫ジュニアグランプリ

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月28日、園田、1400m)は、ダートで2戦2勝のオルトグラフが中心、以下デルマルレーヴ、デンパーテソーロ、シングルアップ、リンゾウチャンネル(北海道)、イッククルの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●カルティエ賞発表～欧州年度代表馬にロアリングライオン

欧州競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞の受賞人馬が11月13日に発表され、G 1エクリプスS、G 1インターナショナルS、G 1愛チャンピオンS、G 1クイーンエリザベス二世SとG 1を4連勝したイギリスのロアリングライオン(牡3歳、父キトゥンズジョイ)が欧州年度代表馬と同最優秀3歳牡馬に選出されました。同3歳牝馬はG 1愛1000ギニー、G 1コロネーションS、G 1ファルマスS、G 1ジャックルマロワ賞とこちらもG 1を4連勝したアルファセントーリ。同古馬はG 1凱旋門賞連覇を果たし、G 1ブリーダーズCターフにも勝ったエネイブル(牝4歳)。同スプリンターはG 1アバドロンシャン賞に優勝したマズクロス(牝4歳)。同ステイヤーはG 1ゴールドC、G 1グッドウッドCを制したストラディヴァリウス(牡4歳)。同2歳牡馬はG 1デューハーストSを制したトゥーダーンホット。同2歳牝馬はG 1モイグレアスタッドS優勝のスキッターズキャッターでした。なお、ロアリングライオンを手がけたジョン・ゴスデン調教師は、これで2014年キングマン、15年ゴールデンホーン、17年エネイブルに続いて近5年で4度も管理馬が年度代表馬を受賞。今年はロアリングライオン、エネイブル、トゥーダーンホット、ストラディヴァリウスと計4頭もの管理馬がカルティエ賞を受賞しています。